

### ■ ロングトーン + 音階練習

- ・発音や音の処理まで意識しましょう。
- ・姿勢や指に力が入らないように気をつけましょう。
- ・時短を意識して音階練習もプラスしてみましょう。



### ■ 半音階 + レガート練習

- ・アンブシュアの安定させ、ロングトーンの息で吹きましょう。
- ・記譜ファ#の音、ラ#の音の運指に気をつけましょう。
- ・高音域、低音域はアンブシュアが良ければ自然と出ます。正しいアンブシュアで吹けているかチェックしましょう。



- ※ファ#「TF」を使う運指/ラ#「TA」を使う運指を利用。
- ※慣れてきたら速いテンポでも練習しましょう。

### ■ アンブシュア + フィンガリング練習

- ・サクソフォンの苦手とする運指ですが曲でよく出てきます。
- ・フォームに気を付けつつ、息やアンブシュアもチェックしてください。



### ■ タンギング練習

- ・ロングトーンの音色を崩さないように。
- ・アゴが動かないか鏡を見て練習するのもおすすめです。
- ・八分音符と八分休符のパターンはスタッカートの表現に繋がる練習です。



### ■ オクターブ + アルペジオの練習

- ・アゴを噛みすぎてしまうと、高い音のピッチが上がってしまいます。
- ・舌の形、息の入れ方など工夫して、噛まないように気をつけて練習してみましょう。
- ・音程もチェックしてみてください。



### ■ 音階 + アルペジオ練習

- ・練習の仕上げに音域の広い音階とアルペジオを練習しましょう。
- ・同じ調ばかりでなく、様々な調で練習しましょう。
- ・取り組んでいる曲の調性を優先する効率があります。
- ・いろいろなアーティキュレーションを加えて練習しましょう。



### ■ 練習の工夫

#### ● 曲練習

なんとなくの練習にならないで、こんな風に演奏したいな、とイメージを持ちながら練習しましょう。

● 右のグラフを活用して自己分析をしてみましょう。苦手な所を伸ばす目安になります。

